

第15回ゴミパイプライン協議会

会議名	: ゴミパイプライン協議会
開催日時	: 2017年11月25日(土) 10:00~12:00
場所	: 芦屋市環境処理センター会議室
参加者	
利用者の会より	: 山口委員長、大永委員、長谷委員、春木委員、三宅委員
市より	: 北川部長、藪田主幹、尾川係長(司会進行)、林パイプライン担当
傍聴者	: 6名

○市 定刻になりましたので、第15回ゴミパイプライン協議会を始めさせていただきます。

きょうの司会を務めさせていただきます、環境施設課の尾川です。よろしくお願ひします。

まず、資料の確認です。第15回ゴミパイプライン協議会次第。配付資料としまして、資料1から6。皆様、そろってますでしょうか。

それでは始めさせていただきます。きょう、長谷委員ですけれども、15分ほどおくれるということで連絡を受けております。

次第に沿いまして進行させていただきます。まず、議題1、台風21号の被害状況について、資料1、環境施設課の林から説明させていただきます。

○市 芦屋市の林です。おはようございます。

台風21号の被害状況について報告させていただきます。10月22日、日曜日、ちょうど衆議院の選挙のある日に、夕方から翌朝にかけて関西を直撃した台風21号の影響でパイプラインが停止しました。今回の台風に関しましては、雨だけではなく風も吹きまして、実際、引込みポールや輸送管内に水が浸入したりしました。それについて御報告させていただきます。

ホチキスをした資料の最後のページに、芦屋浜を色分けをした資料があります。被害が発生したのは10月22日、日曜日ですけれども、その日から仮復旧、とりあえず試運転をした時期を色ごとであらわしております。

黄色の部分が10月24日火曜日に試運転を開始。緑が11月6日月曜日。水色が11月8日水曜日。紫が11月10日金曜日。青が11月13日月曜日に試運転をしまして、全域が完全復旧したのが15日水曜日になります。

車収集の件ですが、車収集は10月24日火曜日から11月15日まで、日曜日を除く20日間

行いました。また、排水作業は、黄色い大型車が来て10月24日火曜日から11月15日水曜日の15日間行いました。

続きまして、資料1の表面で、実際どれぐらい被害があったか、写真も含めまして前のパワーポイントで説明させていただきます。

大きく分けて、現在把握できるところで5カ所あります。穴あきが3カ所、引込みポールの折れたのが2カ所ございます。

まず、穴あき①から説明させていただきます。左下に拡大図を示してるんですが、環境処理センターの北側の大きい道を渡った場所になります。こちらが写真になりまして、左手を見ていただくと黒い色がついてる部分、ここまで水があったところになります。ちょうど真ん中ら辺に水がたまってるんですけども、その拡大図が右手の赤丸の部分になります。この赤丸の部分から水が入りまして、パイプラインが停止しました。補修方法については次のページです。

補修に関して、直接水中ボンドで補修すると水を含みまして固まらないので、まず止水セメントで水をせきとめてから、その上から水中ボンドで補修を行っております。実際、さっきの穴は大体10センチ幅で穴あきがありまして、現在は補修をしておりますので運転は可能となっております。またそれ以外にも、こういった継ぎ目の部分からも15センチ幅の穴が発見されましたので、水中ボンドで補修を行っております。

こちらが全体図の穴あき②になります。環境処理センターの道を渡った丘の向こう側になります。こちらの部分は、前回の協議会で動画を御紹介させていただいた場所になります。実際10センチ幅の穴ですけれども、前回の動画のように、この穴から大量の水が噴き出す可能性もあります。

こちらの補修方法に関しましても、先ほどの補修と同様、まず止水セメントを行ないまして、その後、水中ボンドで上から補修を行っております。こちらに関して、10月22日に台風21号は来たんですが、その翌週に台風22号が来まして、その後にもまた輸送管内を見ても、継ぎ目から水が、多少ではあるんですが、出ておりましたので、それぞれ補修は行っております。

穴あきの3番の説明をさせていただきます。これはちょうど浜風小学校の東側の歩道の場所になります。左に穴あきの全体図をあらわしています。水の跡が残ってる部分に亀裂が入っております。それが右側の2つの斜線で分けて示しています。亀裂が入って浮き上がってるような形になります。この穴あきの大きさに関しましては、縦が

約60センチ、横幅が30センチぐらいになっております。こちらに関しましても、先ほどと同様に止水セメントを行ないまして、水中ボンドで補修を行っております。

最後に、引込みポールの倒れた件です。それぞれ2カ所ありますけど、緑町に関しましては、右手が台風21号の直後の写真になります。建替え後の写真が右手になります。もう一カ所、引込みポール②で、台風直後が左手の写真、建替え後は右手の写真になります。

以上で台風21号の被害状況についての御報告を終わります。

○市 1番、台風21号の被害状況について、何かございますでしょうか。

○利用者の会 どうも御苦労さまでした。利用者の会の山口と申します。

友田さんが風邪でダウンされまして、きょうはお休みをさせてくださいということで、かわりにお伝えいたします。

質問、2点あります。1点が、今回のことは、当然、今後も可能性としてはあるわけです。ですから、そういうことを事前にきちっと検討していかないといかんかなと思ってます。ことは非常にスケジュールがタイトで忙しいので、来年、グループAの目的がパイプラインの維持管理で、主に経費の削減を一緒に考えたんですけど。1月から経費の削減も含めて、今度は補修をどうしていくのか、やはりこれはきちっと整理しながらやっていかないといかんかなと思います。来年の梅雨と台風で、やはり同じようなことが起きるかもしれません。その辺を私たち民間の知恵も一緒になって考えていきたいと思ってます。スタートは来年になると思いますけど。

2番目、今回どのくらいお金がかかったのか、ちょっと確認をさせていただきたいので、その2点をお願いいたします。

○市 2番目の質問に対して、大体、排水作業に関して、概算として600万ほどかかっております。

○利用者の会 それはパッカー車も含めて。

○市 いえ、排水作業のみです。

○利用者の会 排水作業のみで600万。プラス、パッカー車が3週間走ったのも。

○市 それは別です。

○利用者の会 別途費用。

○市 はい。

○市 もう一つの質問ですが、今後もこういうことが起きる可能性もあって、ワーキン

グ・グループAで、経費の削減の中で補修をどうしていくのかというのが、芦屋市としても、これからどういう形でどういう対応をしていくのかを一緒になって考えていたらなと思っております。

○利用者の会 1月からでいいですか。

○市 結構です。

○利用者の会 スケジュールをみます。

○利用者の会 大永です。

今回の穴あきは台風とどんな因果関係があるのか。水圧が高くなったからですか。継ぎ目から入ってる分と、最後の浜風はかなり割れたというか。中身がちょっと違うように思うんで、その辺の分析はどんな感じになっているのでしょうか。

○市 今回の台風に関しましては地震ではないので、これによってこの穴あきがふえたことではないと思うんです。見てもらったらわかるように、既存のものとして穴がたくさんある。台風によって雨がたくさん降ると雨がしみ込んできて、その継ぎ目から入ってくる。それプラス、潮位の関係です。地下水の関係が、上がってきたらその穴から入ってくる形によって、こういう水が浸入してきていると思われれます。

今回たまたま入らなかった、しみ込まなかった部分は多数ある可能性はあります。こういうのが、なかなかカメラ等で見ていってもわからないような穴も多分ありますので、どっちかという対症療法的な形になっております。

○利用者の会 春木です。よろしく申し上げます。

私、止まってたときに向こうに行く用事がありまして。そうしたら、投入口が青ランプで開いたままのところがあったんです。その近辺は赤ランプで、使うなということがあったんです。あけっぱなしで、周囲は赤ランプで使えんようになってんのに、何であきっぱなしや、いつもどおり閉まらない、詰まっていっぱいです。

台風とか雨降ってる直前に、そのままあいとったところはないですか。あのままであいた状態になつるということは、ずっとあいたままやったん違うんかなと。そこは、私行ったときには半分ぐらいは詰まってあいとる投入口ですが。そういったことがなかったのかなという気がしてます。

そういう情報は、それを最初に起こした原因をつくった人は別であったとしても、最後にそういう状態になったということは、やっぱり住民さんはわかることやと思うんです。閉まらないから。そしたらすぐに、そういう状況もあり得るということで、や

っぱり連絡して、通報して、直してもらうのが当然のことやと思います。

そういうこともあるので、ホームページにはこういう状況で、「済みません、御迷惑をおかけしてます」ということだけではなしに、見ておられる方は少ないかもわかりませんが、1つにはいいチャンスやと思うんです。こういうことがあって、雨が入る可能性もあるので、こういうところを見つけたらすぐに通報をお願いしますとか。そういうところで、ぜひアピールしていただきたいなと思ってます。

今言いました、青ランプであいてたところが実際にどう処置されたのか。そのときに連絡があって、忙しいからほっとかれたのか、その辺をお聞きしたいなと思ってます。

これは残念ですが、こういったことを今議論できる場がないので、この限られた時間でいっぱいいっぱいあるので、非常に残念なことです。それは置いといて。

あと、この輸送管については非常に傷んでるということで、サンプルも置かれてやられてるんですが、私が思うのは、場所を決めて、定期的にチェックリストをつくって、年度計画を立てて。現場作業員の方でもできる範囲なんで、この辺は全て見られんにしても、やっぱりその辺の予防保全的なことをやっていただきたいなと思ってます。

以前、あれはいつだったですか。林さんが輸送管のテストをされて、結果がだめだったという報告で、今後とも調査、研究を続けますと報告されたと思うんです。それから半年ぐらいたっているん違うかなという気がします。やっぱりこの辺もぜひ、協議会もそうですが、業務として、その辺、至急やっていただきたいなと思ってます。利用者の会の中にもプロの方が、経験豊富な方もおられるので、そういったところからも情報があれば、ぜひ、その辺について。市が中心になって、林君が中心になって頑張るといことで、ぜひお願いしたいなと思ってます。

3点目は山口委員長が質問されたコストです。この辺は、今、こうやって協議会で、利用者の会とか一生懸命コストダウンをやってますので、私たちも、どれだけ費用がかかったか知りたいということです。みんなで一生懸命コストダウンをやっていこうと言うてますので、この辺はきっちり調べ上げてやっていただきたいなと思ってます。こんなことを言うたら皆さんが怒られるかもわかりませんが、日曜日以外、収集車で回られたんです。何で日曜日以外、毎日毎日行かないかんのかという気がしてます。

今回、通報体制で新たな通報体制をつくられたと思いますけど、それに合わせて、その辺も今後ともあり得ることなんで、事前に今回のことをチェックしていただいて、見直していただいたらどうかな、標準化していただいたらどうかな。それをまた利用

者の会へ提案なりしていただけたらいいん違うかなと思ってます。

ともかく利用者の会と一体となって、最善な方法に持っていくことが大事かなと思ってます。その辺、現状について説明いただきたいなと思います。

○市 芦屋市の林です。

質問に対して、バケットが開きっぱなしの件ですが、まだ日報とかを確認できてないですけど、恐らく電話があれば維持管理の高砂熱学さんは行ってると思うんですが、実際どういった状況だったか、今、詳細はわかりません。

今後、もしバケットが開いたままであれば、環境施設課に電話いただければ対応等はさせていただきます。

また、ホームページに上げる件、それは今後、どういった形で上げるか、またワーキング・グループBも含めまして検討したいとは思っています。

○利用者の会 実際にはあいてたんで。その辺は高砂熱学のオペレーターにもちょっと言うてもろうて。絶対、復旧してるはずなんですよ。詰まるとるということは。

○市 そうですね。

○利用者の会 ちゃんとアピールしといてもらって。

○市 実際、高砂熱学さんも、全てバケットがあいてるかどうかはわからないので。たまに通報で気づくという場合もございますので、そういった場合、どういった形ですかというのは検討させていただきます。

もう一点のライニングの件、あれ以降、進展がないというのはあったんですが。あそこの検討項目にありました、下水道課さんにも相談させていただきまして、ライニングの工法協会ーライニングにもいろいろあるみたいなので、そこのメーカーの問い合わせはしているんですけども、余りいい返事はいただけてない状況があります。そういうのも含めまして、ワーキング・グループで報告させていただいて、協議会の知恵もいただいて、どういった補修方法がいいのか、また検討していけたらいいなとは思っております。

○利用者の会 利用者の会の会員から提案があったら、それも含めて。林君が中心になって頑張る。

○市 わかりました。

○傍聴者 潮見町の野村です。

今の水中セメント。

○利用者の会 さっきのコストの件で。収集車の件、それをちょっと回答してほしい。

○市 パッカー車収集に関しましては、今、正確ではないかもしれないですけど、200万弱かかっております。3週間ほどで200万弱といった形です。

○利用者の会 それを毎日やる必要があるのかを含めて、検討をお願いしたい。何か理由があるのかもわかりませんが、私は知らない。

○市 今は皆さん、パイプラインがある状態で、毎日捨てるような状態になってます。それにかわる代替収集で、基本的には週6回やってます。でも、今いろんな苦情等、やっぱりあったんです。それでもごみがあふれてしまうので、網をもう一個持ってきなさいとか。網1つでは足りないから網をもう一個持ってきてくれとか、コーンがとられましたとか。重しがとか。あと、カラスに荒らされました等のいろんな苦情はかなりありました。

地域によっては網の中にゴミがほとんどないような状態でパッカー車が収集してるようなこともありますけども、高層を含め網が1個では足りない、2つ3つ、私と林君で網、また買ってきて渡してみたいなことをやってる地域もあります。地域によって量は変わりますが、基本的には緊急時の代替収集は今のところ週6回やっております。

○利用者の会 その辺、しっかり細かいところまとめといて。というのは、代替案検討のときにも、その辺は1つの資料になります。

○市 そうですね。実際、収集してる方に聞いて、どこがどのぐらいやというのはヒアリングをしております。それは将来、代替案を考えたときにも必要なデータとなると思います。それは今、データを蓄積しております。

○利用者の会 よろしく申し上げます。

○傍聴者 潮見町の野村です。

今、水中のセメントを塗ってから水中ボンドでとめることをやっておられるのは、これは保全の、だから高砂熱学の方がおやりになってるのでしょうか。

○市 はい。

○傍聴者 それであれば、本当の専門じゃなくて、それで本当の補修、簡易補修みたいな形でやって、その補修した後が、どう考えても20年間もつのは非常に難しいと思うというのが1つです。その件はどう考えておられるのか、林さんに後で伺う、まずそれいきたいと思いますか。

○市 芦屋市の林です。

今回説明した止水セメントと水中ボンドの補修に関しましても、今回は仮補修という形にしております。今後、場所によっては輸送管を変えるか、また耐摩耗鋼で補修を行なうか。そのまま水中ボンドで続けて、時期を見て変えるか。そういったのも高砂と協議をして決めようとは考えております。

○傍聴者 それと、この前の協議会でも、私、一応提案させていただいたんですけど、私の知り合いのパイプのシーリング、中側にパイプを入れる方法ですけども、それを山口さんにお聞きしたいんですけども、1月にグループAでやるということですか。それとも、そのシールの話は、メーカーも来て話はしましようという話をされてるわけですけども、それはグループEでやると前は聞いてたんですけど、どこで、どういう形でやるのかということですか。

○利用者の会 利用者の会の山口です。

この件に関しては前回の利用者の会で、グループAでやるという話を私はしました。覚えておられますか。

○傍聴者 覚えてません。

○利用者の会 他の方は知っておられるし、議事録もちゃんとその辺はあると思います。

グループAで、先ほども話したように、来年1月から維持管理の方法をどうするかという検討をしたいという話をしました。

急にライニングの話にはならないと思います。まず、現状をきちっと分析して、どんな補修方法があるのか。その辺の検討で、それだったらライニングという方法、いろんな方法があるでしょうという中で検討したいと、私自身は個人的にはそう考えてます。

○市 芦屋市の藪田です。

管の補修方法、いろんな考え方があると思うんです。これだけいろんな方がいらっしゃるの。この協議会の時間、この場は時間が限られてますので、今言っていたグループAでもうちょっと話し合っ、時間とって、いろんな人の話を聞いていけばいいのかなと思ってます。この場で余りその細かいとこまでやり出すと、ほかの議題もありますし、時間もあれなので。そのとき、またいろいろとお聞かせいただければと思います。

○傍聴者 1つだけ。おっしゃるとおりで、グループAであろうがEであろうが、そこで

おやりいただいたらいいと思うんです。私も1つの提案とさせていただきただけで、それがベストかどうか全くわからない。ただ、もう少しいろんな案を、専門家の意見を聞いて、それとコストとの比較をして、いろんなことを考えていかなければならない。

そうなってくると、ここで話ししてもしょうがないというか、技術的には詳細の話になってくるので、できるだけ専門家の方に出していただいて、そのときに話をしている。あくまでそれに関しては技術的な話なんで、一般の方には、それを後でまとめたものを協議会でお話しするのはいいと思うんですけども、技術部隊でやらないと、ちょっとこれは話が難しいと思います。それだけです。

○傍聴者 最後のほうで私の意見でお話ししたいなと思って。これを言わんと夜も眠れんような感じで。きょう、昼から富山へも行くんやけど、ゆっくり行けんということ。今、ちょっと話しさせていただきます。

私も南芦屋浜からやってきまして、ずっと見てて、これまで来てるわけです。現在の状況を見てて、山口委員長と友田さん、きょう風邪ひかれて休まれていますけど。現在は、利用者の会が一体化してることを市のトップに再認識してもらうことなどもあって、これまで一生懸命やられて。今は住民説明会、またその後はまとめと、市のトップへの報告などなどを含めて、非常に忙しく忙殺されてるんじゃないか。説明会やろうと思ったら、またその資料をつくらんといかん。

したがって、藪田課長にもお願いしたいのは、ぜひみんなでバックアップして、早く次のステップへ行けるように、みんなで努力することをお願いしたいなと思ってます。10年、20年、30年間の費用についても、提案書の中には、基本的なこととしてP D C Aを回す。コストダウンも、今後とも活動を継続することで明記してるわけです。今後は非常に重要なステップに入っていくと思うんです。これをベースとして、今後とも一体化して実現させていく、非常に重要なステップになっていくと思うんです。

先ほども言われてましたけど、利用者の会にも、非常に民間で苦労されて、経験豊富な方もおられます。そういう人たちとも一体となって輸送管修理費用の低減やとか、さらなるコストダウン。それと代替案の検討を含めた芦屋市のごみビジョンの提案などのために、今出てましたように利用者の会の組織の企画、検討を含めてやってもらうためにも、やっぱり余裕がないと考えるあれができないと思うんです。だから、委員長、友田さんにも余裕ができるようにみんなでバックアップして、次の大事な大事なステップへと早く行けるようにお願いしたいなと思ってます。

一方、藪田課長にもお願いしたいんですが。あの提案書は、私としては初めの1歩だと思ってます。あれがスタートやと思ってるんです。だから、今後とも代替案の検討を含めて、芦屋市のために最善の追求を、利用者の会の活動を継続していくことを、市のトップにもその時々伝えていただきたいなと思ってます。

まだ10年先いいですか、長期、時間があります。だから、あれが最初の第1歩やということで、ぜひ次の段階に、来年ですけど、それまでの間にいろいろ企画せないかんことあると私は想像してるんですが、早くその辺行けるように、いろいろあるとは思いますが、みんなでバックアップして、早く次の段階へ行っていただきたいな。皆さん、恐らく次の段階のことで頭がいっぱいだと思ってますし、私も含めてそうだと思います。早く次の、初めの1歩から踏み出せるようにバックアップしたいなと思ってます。よろしくをお願いします。

○市 芦屋市の藪田です。

ようやく1歩踏み出したと思ってますので、また御協力のほうよろしくお願ひしたいと思ひます。

○傍聴者 市長のほうにも時々は、常に。

○市 時々は、常に。

○傍聴者 会った都度、理解してもらえらるようにお願ひします。

○市 ありがとうございます。

○利用者の会 利用者の会の山口です。

ちょっと補足だけ。ワーキング・グループが、固定したメンバープラス、要項にもちゃんと書いてますけど、必要であればその他の方のサポートもメンバーに入れると書いています。ですから、グループAはこのメンバーですから、それに専門家の方が、ぜひとも私たちの意見もそこで反映したいということがあれば、どうぞ言われて、事前におっしゃっていただいて、入っていただきたいと私自身もそう考えてます。

2番目は、利用者の会が組織を考えないといけないなと私も思ってます。というのが、今、大永さん、私、友田さんの3人がメインでやってるんですけど、あらゆることをやってまして、非常に大変な状況です。ですから、来年は利用者の会に提案をして、組織もどんな組織が本当にいいのかも皆さんと一緒に考えていきたい。その提案も今、考え中ですので、その辺ももっと皆さんの力を引っ張り出して、それが芦屋市のために貢献できるのであれば、そういう組織も考えていきたいと思ってます。

以上です。

○市 それでは時間もありますので、次は議題2、パイプライン施設トラブル時の連絡体制づくりについて資料2をごらんください。

○市 芦屋市の藪田です。

議題2、パイプライン施設トラブル時の連絡体制づくりについて。資料2は山口さんの協力を得てつくりました。

今回の台風のトラブルで、やはり連絡体制が非常に問題になったのかなと思ってます。今までの我々の連絡方法といいますとホームページでお知らせしたり、投入口に掲示物を張ったりぐらいしかできてなかったんです。もしくは月に一遍、この場で報告する。ただ、この台風の被害があつてから、それでは足りないのかなと感じてまして。先日、山口さんに相談したんです。

そして、資料2のような形でまとめていただきました。資料の説明のほうは、山口さんをお願いしてもいいですか。

○利用者の会 利用者の会の山口です。

この資料は、前回の利用者の会でお渡しした部分がメインになってます。今回、台風を踏まえて、私自身も思いましたし、ほかの方も思ってるでしょうけど、やっぱり連絡体制に不備があるなと実感しました。それは時間的な問題と、質的な問題と、両方あったんですね。

私も絶えずホームページを見てたんです。よくこの問題を知ってる方はわかるんですけども、初めてのおじいちゃん、おばあちゃんが見てもなかなか難しかったです。どうしていいかわからないことがありましたので、私にもかなり問い合わせが来ました。そういうことを含めて、ここできちっとしたコミュニケーションのシステムをつくろうと。たまたま、これはグループBという形で、当然この問題をずっと検討してまして、これもグループBのそのものをここに持ってきてます。

具体的な形としては今回2つがあります。1つはグループBでずっと検討してました、投入口の上に何らかしらの掲示板を置こう。その中で、その掲示板を活用して啓蒙活動も含めて情報を流していく。と同時に、その掲示板で各自治会及び管理組合も、自分たちがいろんな問題を抱えてたら、そこにかけていこうという掲示板の設置を既に現状で進めておられます。そこをどんな運用をしていくのが1つです。

もう一つは、メールを活用していこう。タイムリーな情報が今回非常に必要なんです。

いつパイプラインが直ったかという情報が、なかなか徹底してない部分がありまして。パイプラインが使えるのにごみを捨てていく人がかなりおられましたので、その辺はやっぱメールをもうちょっと見直さないといけない。

ということで、この間、利用者の会でメールを活用しようということで次のページに、比較表を説明して、メールを活用したらどうであろうかということで、皆さんの合意を得て、メール担当を置きましょうということで、次回の利用者の会で各組織からメール担当者を1名選んでいただいて、そういう組織を、迅速に情報を共有しようということをつくろうということがあって、今回、こういう提案になっております。ただし、2ページに問題を書いているんですけど、メールを持たない自治会長さんがおられますので、担当者は1人メールが使える人を置きましょうということで、皆さんにお願いしているところです。

2番目、これは検討が必要ですけど、メールは実は3種類あるんです。これはパソコンのメールとスマートメールと携帯メールと3つあります。ですからこの辺、どこにどんなメールをどうするかということは、もうちょっと検討しないといけないなと思ってます。それから、当然、各組織団体は1年、2年で交代しますので、メール担当者が交代した場合には、必ずそれを連絡することは徹底が要ると思います。

それから、組織がないところがあります。ですからメールが行かないですけども、そういうところはどうするかも、情報ボードという投入口の上に設置、今してまんですけども、これからもどんどん広がると思うんですけど、そういうものを利用してどうするかを検討しないといけません。

それから、当然、地域別の問題が今後出てきます。この投入口のこのラインだけ緊急に工事が必要だというときがありますので、その辺のグルーピングの問題も考えないといけません。そして以前、私が失敗したことがあるんですけども、通常のToというメールと、CCというメールと、BCCと3つあるんですけども、今回はBCCを使うということで、もらった人は誰に行ってるのか一切わからないBCCで送る。

そうしないと、そのメールアドレスを全部コピーされて、勝手にそれを使う人が過去おられました。私にクレームが来て、自分のメールアドレスは誰にも教えてないのに、何で俺のここに来たんだというクレームもありましたので、BCCで送ってほしい。CCには私たち、山口、友田、大永を入れてほしい。個人情報保護法の観点があるので、これらの目的以外には絶対に使用しないというのを徹底する。

ということで、12月にこのメールの組織を、とりあえず完璧ではないにしてもつくって、今後は、緊急性を要する場合にはそのメールでやりとりをしたらどうかということで、その組織をつくっていかうと考えておりました。これは利用者の会で概略はOKいただきました。ただ、今言いましたように、細かい点をもう少し詰めないといけない点もありますので、それは今後、ワーキング・グループBも利用しながら、使っていきながら運用要項をきちっと決めまして、それに基づいてやっていただこうと思っております。

それから、投入口のボードに関しても運用要項のたたき台は既につくっておりますので、それをまた利用者の会を出して、たたいていただいて、より市と情報をパイプラインに関しては啓蒙も含めてやっていただきたいと、今考えております。

以上です。

○市 議題2に関しまして、特に何かありませんでしょうか。

○利用者の会 長谷でございます。

毎月1回、私の検診日とすっきり日程が合っちゃいまして済みません。遅れまして申しわけございません。

このやり方がうまくいけばすばらしい連絡網ができるんですが、とはいえ、このたび、私にもたくさんメールと電話の問い合わせがあったので。実質的に、ここに行き着くまではなかなか難しい問題がいっぱいあると思うんです。よって、市のほうについては自治会が組織してますとか、当然そんなこと言わないのわかってるんですが、ではなくて、軌道に乗るまでは通常の対応をきちっとしていただかないと。

今回については、こちらの所管課以外にも、たくさんの広範囲にわたる問い合わせが、多分こちらに集中したであろうとよくわかるので、その辺の経験も踏まえて、横の連絡をきちっとしていただいて、できるだけ、できる範囲の対応をしていただきたいと申し上げておきたいと思います。

○傍聴者 潮見町の大田です。御苦労さまです。

先ほどホームページという話がありました。私も今回、潮見南が一番最後になったということで、市のホームページを見て、いつごろ復旧するのか見ておったんです。ごみのところから復旧状況に入っていくのも非常に検索しにくい。もっと見やすい方法はないのかなと思います。

それと、ホームページは、見る人は見るけど、見ない人は見ない。日常生活、ごみを

出されてる奥さんたちはほとんど見ない。これで広報活動がほんまにできるんだろうか、ちょっと疑問に思います。先ほども山口さんがおっしゃいましたけども、メールとの連絡で、地域のそれぞれの自治会ないし管理組合の代表者にメールを送ったとしても、これをいかに他の方に知らせていくかという問題があるわけです。代表者に伝わっても、潮見でいえば香川さんなんか日曜に仕事をされてる。受けても、これをいかにして連絡とっていくかということはあるんです。

私の考えるのは広報車みたいなものを出せないか。ただいま台風の影響でストップしてます。復旧活動に尽力してますということで、いつ復旧できるかどうかわからないけども、今の状況がこうである。今度、復旧が済んだ後、復旧できましたんでという広報車を利用できないかと思うんですけども、いかがでしょうか。

○市 環境施設課の尾川です。

ホームページがちょっと見にくいところは、今、市でも修正はいろいろ考えてるんですけども、基本的に芦屋市のホームページのトップページのくらしから入ってもらったらパイプラインにはすぐ行ける形になってます。ごみリサイクルからではなくて、くらしから入るとアクセスがしやすい形になっております。双方向からアクセスできるように、今、改良を考えております。

ホームページを見ない人が多いということですけども、全ての方を網羅することはなかなか難しいと思います。それも含めまして、今、山口さんが比較表で書いてもらってますように、まずはホームページで連絡して、メールです。代表者の方。香川さんが忙しいということであれば、違う方がその担当になってもらったら結構やと思います。

それプラス、今、工事が順次進んでるんですけども、パイプラインの投入口の上に掲示板を置いてます。あれを張ることによって、ごみを捨てる方、直接それにアクセスできるような形。いろんな方面からのアクセスによって、皆さんに周知していただけるように考えております。広報車に関しましては、1つの案としてお聞きしますが、なかなか車を持つとかなあかんとかそういう形もありますので、これはまだ検討課題という形になると思います。

それでは、ほか何かございますでしょうか。

○利用者の会 メールの件ですけど、代表者に知らせて、今度、引き継ぐ人にやったとしても、これを全世帯に知らしめるのは、タイムリーに知らしめるのは非常に難しい。

この辺をどういうふうに解決していくか。

○利用者の会 それこそ、私たち利用者の会の問題だと思います。利用者の会でそれは話したいと思います。もう一つ、組織もないところもあるんです。我々はそういう組織があって、それなりに何とかいくのですが、組織のないところも、ちょっとそれは考えないとならないので。投入口の上にボードとか、多角的な方法が要ると思います。広報車のことも含めて検討したいと思います。

○利用者の会 春木です。

1番の台風21号の被害状況についてのときにも発言させてもらったんですが、今後ともあり得ることなので、そこら含めてしっかりチェックしていただいて、次のアクションにつながるように十分まとめておいていただきたいと思います。コストとか、いろいろ申しあげましたですけども、その辺しっかりまとめておいていただいて、またグループが始まったときには、その辺また、その資料も見せていただいて、十分議論ができるように、ぜひお願いしたいと思います。

○市 それでは議題を進めさせていただきたいと思います。

3番。輸送管穴あき工事について、環境施設課の林から説明させていただきます。

○市 芦屋市の林です。

輸送管穴あき工事について報告させていただきます。

現在、高浜町で輸送管の穴あき工事を行なっております。今回の補修箇所ですけど、2カ所ございまして、前回の補修箇所で左下は報告させてもらいまして、大体11月7日木曜日ごろに輸送管の穴あき（補修工事）が終わりまして、今、まだ舗装は終わってないですけども、運転は可能な状況になっております。

今、右上、9の1号棟の前の投入口の前です。そちらの穴あきの補修工事を行なっているところです。現在、きょうも補修工事を行なっております。大体、11月13日月曜日ころから行なっております。これに伴いまして、9の1号棟の前の投入口に関して、工事中、今、使用不可の状態になっております。お手数ですが、9の2号棟の前の投入口は使用可能ですので、それを御利用ください。

また、今の状況ですけれども、左手の写真にありますとおり、バックホウ（油圧ショベル）とか重機を置かせていただいておりますので、交通で御不便をおかけするかと思いますけれども、御協力をお願いします。

右手、これが実際、輸送管の穴あき補修の場所になります。黒い管が輸送管になりま

す。横に雨水の管もあって、ちょっと掘削が手間取ってるような感じになっております。

これは前回もお渡しさせてもらったんですけど、取り出した輸送管はこのように摩耗しております。改めて、工事中は御不便をおかけすると思いますが、御理解、御協力のほどよろしくお願いいたします。

以上になります。

○市 続きまして、4番、パイプライン運転報告について資料3、毎月の運転報告を林からさせていただきます。

○市 芦屋市の林です。

資料3、パイプライン運転報告について報告をさせていただきます。

こちらに関して、ちょうど台風の被害と重なりまして、逆にほとんど運転してないような状態になりましたので、件数としては例年に比べてかなり少ないです。この中で幾つかだけ紹介させていただきます。

まず、表面のシステム異常発報につきまして、11月5日日曜日、システムのトラブルを受けたのが日曜日だったので、翌日の月曜日に対応いたしました。前回指摘を受けた箇所ですが、投入番号しか書いてないということだったので、今回からは町名まで含めるように修正をいたしました。

11月5日日曜日、8時30分。定時中、ローカル。陽光町、投入番号は30038、ドラム、呑込異常。こちらに関しましては、現場に行き、ドラム内から雑誌等を取り出して、ドラムの正転・逆転を繰り返して異常を解消しました。簡易的なものであればドラムの正転と逆転を繰り返せば復旧はできてたんですけども、ちょっとごみの量が多かったのが時間がかかりました。

裏面。利用者からの連絡対応といたしまして、今月に関しては1件、誤投入がございました。11月13日月曜日、17時45分。ローカル、南浜町。投入番号が32028、投入口、誤投入。こちらに関して、時間も5時45分です。実際、誤投入された方が直接、環境施設課に来られまして、ちょっと見てほしいということで、取り急ぎ運転をとめまして、おられた業者の方と、備考に書いてるんですけども、私と尾川で一緒に行きまして、ドラム内の検索をしました。検索をしても出てこず、その後、車の中から、あったという申し出がありましたので、検索を終了しました。

一番最後、巡回及び定期点検で発見された不具合点等に関しても、1件だけ、ゴム板

で補修したのがありました。今回は少ないですけども、パイプラインの運転報告は以上とさせていただきます。

○市 今回少ないのはパイプラインが止まってたという原因がかなり大きいんですけども、このような状況になります。これについて、何かございますでしょうか。

○利用者の会 利用者の会の山口です。

わからないので、御説明をしてほしかったんです。11月5日のシステム異常です。これは現場で状況は確認したんですけども、手で雑誌をまずとられて、それでコンピューターか何かでされたと思うんです。5人も必要なんですか。

○市 芦屋市の林です。

実際、必要かどうかと言われればちょっとあれですが、センターにいる運転員も含めての人数ですけど、恐らく2班ですね。2人1組の班が2チームとも手助けという形で行かれたと思うんです。実際のところ1班でできた可能性もあるんですけども、応援という形で手があいてたから行ったことも考えられます。そのときの状況が不明なので、5人が必要だったかという点も不明です。

○市 8万6,250円が実際に発生しているわけではありません。もともと高砂熱学に民間委託をしまして、その中で彼らは動いてますので、8万6,000円が発生したわけではないです。ただ、実際にこの雑誌が多かったんで、2班とも行ってやったと、作業をやった。中央の人も含めたら5人かかわって、345分かかりましたよという形で列記させてもらってます。

○市 芦屋市の藪田です。

私からこんなことを言ってもあれですけど、もう少し詳しく作業内容を聞きたいんですけど。ドラムなんで、マンホールあけて地下におりて、ドラムの中の大量の雑誌を、中にあるごみも全部出して、試運転、逆転・正転させた。

ドラムの中からごみ出す人。それを、今度マンホールの上に上げる人とか考えると、それなりに地下で2人、3人。上でもマンホールの上に引き上げる作業員。それと、交通整理員を置いとかないと、以前も通行人にけががあったということもありますので、やはり通行される方の安全を守るためにも交通整理員1人絶対要りますので。

そう言われると、5が4になるかもしれないでしょうけども、周りの安全とか。あと、人数、それだけそろえば時間も短く作業できることもあります。例えば2人とか3人でもできるんでしょうけど、そうなると中での作業1人とか、上に持って上がる作業

がまたその後でとかなりますと、どんどん時間が延びるだけやと思いますので。5人なら5人なりの効率のいい作業ができてるんじゃないかなとは推測してるんです。そんな感じで理解してよろしいでしょうか。こんな質問していいのかな。

○利用者の会 いや、質問して答えてもらっても。

○利用者の会 利用者の会の三宅です。いつも御苦労さんです。

そしたら、これで作業員が5人も出ていったら、センターの人たちは留守になるんですか。

○市 ただ、センターから動かしたりするので、その人も1人加えている。

○利用者の会 そうすると、この人件費はその人たちも含めて、この時間帯にこの作業かかったから、これだけという計算ですね。普段は何もない場合の状態で、一応、その人たちにも経費もかかりますやんか。それは抜いてあるんですか。

○市 そうです。

○利用者の会 わかりました。

○利用者の会 どうも、御苦労さまです。春木です。

今回は南芦屋浜がほとんどないので、ちょっと申しわけないような気持ちです。それと、前回も言わせてもらったかな。この雑誌なんか取り出して、どうされたのかな思ってます。やっぱりほかのごみステーションやったら、当然、こんなもん資源化のときに出してくれて張り紙して、そのままの状態で置いとくと思うんです。

写真で見るよりも現物で見たほうが、その地域の皆さんも、ええ、こんなもん入れたんかということで非常によくわかると思う。汚れてるんやったらビニール袋の大きいやつで、何袋か知りませんが、しばらく置いといたらどうかなという気にします。こんなもん入ってたんやということで。

これは見せしめではないですよ。その人を責めてるんじゃないです。犯人捜しではないです。その人たちにわかっていただきたいということだと思ってます。私、思ってますけど、地下方式の大きな欠点の1つ違うかなという気にしてるんですね。

本来やったら、ごみステーションにそんなん置いといたら、そこに面してる家の人なんか通るんで、何や、誰やということで自治会でのお知らせで回すと思うんです。住民サービスはわかるんやけど、厳しくやっていただいて、これが絶対なくなるようにお願いしたいなと思います。環境面でも省資源とか、そういう面でも非常に悪いです。芦屋市もそれ集計して出します、資源化で。ぜひお願いしたいと思います。

それと、台風のとくにやった、ある投入口が開放のままやった、詰まり。これもいつも載ってたと思うんですけど、それ載ってないです。それもオペレーターに聞いてもろて、詰まりでやったところはないかを聞いてもらって、ここに載せていただきたいです。さっきの台風の反省の中にも入れていただきたいなと思います。

以上です。

○市 それではよろしいでしょうか。

5番、経費削減の取り組みの検証について、資料4を尾川から説明させていただきます。

資料4、経費削減の取り組みを開いてください。毎月やってることですけども、電力入札による削減と、あとはブロワの運転時間の変更の削減を行っております。10月に関しましては、パイプラインの使用電力量が8万9,260kWh（キロワットアワー）。かなり減ってるんですけども、もちろん理由につきましてはパイプラインがとまった。あとは通気運転等をするために、ブロワを動かしますので、それなりの値にはなってますけども、通常月に比べると、かなり減っております。

パイプラインの電気代として175万192円。平成28年度と比べてもかなりの削減になっております。もし、これが関西電力の契約であれば289万3,504円で、削減金額として114万3,312円、10月は行っております。

経費削減の取り組みとしては以上です。

○傍聴者 1点だけ。時間とらせて申しわけない。

以前にも指摘したと思うんですが、第三者委員会ですね。第三者委員会のときに、パイプラインは課題が3つある。コストと環境と公営性。この3点を芦屋市は問題にされたんです。だから、利用者の会でも頑張ってCO2の排出量を減らしてるんやということを、やっぱりトップのほうにも知らせてほしい。ISO14001を獲得します、芦屋も。そういうことで、ぜひお願いしたいと思います。環境処理センターでCO2排出、一番よく排出してる。やっぱり地球温暖化は非常に重要な問題なので、それをよろしくお願ひしたいと思います。

○市 6番、運転方法変更について資料5。山口さんからよろしくお願ひします。

○利用者の会 利用者の会の山口です。

資料5を確認してください。前回の協議会で、日曜日の運転の担当者を削減するかどうか、なくすということで話がありまして、利用者の会で一遍持って帰って話をしま

すという話をして、この資料をつけて利用者の会に説明をいたしました。

目的は年間の削減費用として約250万円浮くよと。6月からその状況を見たら、私たちの利用者が起こした件数も含めて数件、日曜日にもトラブルがあると。利用者からの電話はなかった。5カ月間ではなかったということを提案として、日曜日に委託会社から派遣をしない。そこで無人になるけども、ブロワはトラブルがあったときの対処の問題で運転は止めるということです。ただし、赤ランプになるまで、またはトラブルが起こるまでは、ごみは日曜日でも捨てることができる。

期間は一応2カ月間持とうということで、ただ、正月の期間は別で、後でまた連絡があるかもしれませんが、日曜日もされるかもしれませんが。2カ月間のテストをして、問題がなければ4月1日から実際に実施するという事です。土曜日は通常どおりの運転ですけど、ここがごみの多い投入口を帰る前に引っ張るか、全部引っ張るかは残ってると思います。

メリットとしては250万円の経費削減になる。ブロワが日曜日動かないことで、私は削減できるかなと思ってここに書いたんですけど、ほとんどないということだったので250万円。デメリットとしては日曜日に赤ランプがついて、またはトラブルが発生したら、当然、それは月曜日になりますので、月曜日の解決になることで御説明をいたしました。

ということで、利用者の会としてはデメリットがあるけども、これを受けましょう。250万円下げるならという結論になりましたので、そこだけ御報告をさせていただきます。ただ、1つだけ。土曜日どんな運転をするかだけは、この場で確認をさせていただきますと思います。

○市 今、日曜日の運転停止で考えてますのは、利用者の会ともいろいろ話をしまして、もともと朝と夕方と定時運転をしたんですけども、基本的には朝、それも早朝に定時運転をして、夕方に関しましては中高層、それと満杯箇所だけやっている状況。それで少し、少しといたらあれですけども、電気代の削減になっております。

これを日曜日なくすことで、あと考えてますのは、土曜日、朝の定時運転を通常どおり行ないまして、夕方、帰る前。4時とか4時半に全域を定時運転して、とりあえず空の状態にして帰る。そこから投入ができます。ただ、そこで赤になったら、日曜日はその地域は投入できないような形。月曜日の朝になるまでは投入できないような形。ただ、月曜日、通勤時に関しましては、月曜日の朝の定時運転は5時半からやっ

てますので、捨てれるような状況になってるのかなと思います。

○市 続きまして、先ほどもお話がありました、年末年始のお話です。ちょっと済みません、今、日曜日運転をしないという提案をさせていただいてるんですけど。今、カレンダー見てたら、12月31日が日曜日なんです。この日も運転しないのかということになるんですけど、例年、年末年始は特別収集をさせてもらってるんです。それと、年始はお休みもさせていただいてるということで、12月31日は特別扱いをさせてもらいたいと思ってます。例年どおり31日は正午まで投入可能にさせてもらいます。一旦、正午で締めて、全地域運転かけさせてもらいます。

そこからプロワのほうは全地域かけた後、停止。青ランプの間は投入できる。赤ランプになると投入がとまってしまうということになるんです。そのまま年始に入っていく、年明けのんですけども、次の運転が1月4日木曜日になるんですけども、4日、木曜日の午前9時から、また定時運転をスタートさせるという運転を考えております。日曜日の運転しない日が、12月3日、10日、17日、24日。この4回が12月の実験する日となっております。

それと、ちょっとつけ加えさせていただきますと、この実験をまずさせていただきたいと提案して、今は利用者の会からは、じゃあやってみましょうという回答をいただけてるのかなと思うんですが。やってみて、これを来年度の契約に反映させることができるのかどうかという答えを、また導き出さないといけないと思うんです。

時期が時期なもので、そろそろ来年度の契約を、我々も考えていって、業者と契約を結んでいかなあかんということと。やっぱり業者さんも、4月からの人の動かし方もあると思うんです。向こうの会社も。ですので、4月1日の契約に間に合わせようと思しますと、次の協議会、また後で話しさせてもらおうと思うんですけど、1月の協議会で、この12月の実験の結果の話をちょっとして、2月の協議会では答えを出したいなと思っております。そして、我々も契約に動いて、4月1日から日曜日に人を減らすんやったら減らすということをしていきたいと考えてますので、そのスケジュール感で動いていきたいと思っております。よろしくお願いします。

○市 よろしいでしょうか。それでは。ちょっとお待ちくださいね。

○傍聴者 潮見町の野村です。

ちょうどパイプラインがとまってたときに、私、月曜日の朝に、潮見町のごみの量は、投入口に置いてた写真を全部撮ってますので、もし必要であればお出しします。ほと

んど潮見町の場合は、いっぱいにならない満杯運転、だから土曜日に出して月曜日です。それはいつも入れれないから、横に置いてるだけだからごみが少ないかもしれないですけど、そんなに多くはなかったです。必要であれば写真を私が持ってますので、林さんでも、お出しするのであれば、潮見だけは持ってます。

○傍聴者 山口さんから、日曜日の運行をやめるというお話で250万円削減できる予定であるということですけど、今までだったら夕方ですか、6カ所の赤ランプがつけば運行するよと。赤ランプついたところだけを運行するということでしたか。どうでしたかね。

○市 中高層は運転してます。

○傍聴者 その辺のところで、今度、土曜日に、日曜日休むということで、土曜日に、一斉に夕方稼働した場合、この250万円という予測がどうなるのかなと。それを加味した上で250万円なのかどうかということですけども。

○市 250万円というのは、今、高砂熱学さんに委託してる委託料が250万ほど下がるんじゃないかという、設計上の値になります。

電気代に関しましては、日曜日を運転しない分で、ざくっとした計算ですけども、年間で80万円ほど下がるかもしれないです。ただ、その土曜日の運転はちょっと長く、大きくなりますので、土曜日にちょっとふえてしまう。相殺という形にはならないので、多分、プラスマイナスをすると五、六十万は電気代としても下がるのではないのかなとは思っております。

それも含めてデータをこの2カ月間とっていきたいと思っておりますので、よろしく願います。

それでは、12月1日からの実験はよろしいでしょうか。

(「はい」の声あり)

○市 12月1日から2カ月間。途中になりますけど、1月に1回検証をいただいて、2月に反映させていくような形で考えております。

続きまして7番、「今後のパイプライン施設に関する提案」の住民説明会の経過報告で、資料6、山口様から説明させていただきます。

○利用者の会 利用者の会の山口です。

(直接)住民説明会を11月18日から(各集会所で)、今、実施しております。まず、議員の方から。それから各自治会、管理組合が終わりまして、その後、直接住民の方

で、ポスターとかいろんな形で伝えて、18日からやって、今、3回をやっております。それぞれの人数は、そこに参加者が書いております。

I Cレコーダーで記録を取って、Q&Aにまとめるということで、今ここに、全部ではないですけど、時間の限りがあるんで、出たものをここに、皆さん方の意見を、質問をまとめております。

1番目は、パイプラインを南芦屋浜地区で使用してないところはどこでしょうかということ。これ、あってますか。この2つ。何かややこしかったような気がしたんですけど。何とかの一部が使えないとか。もし変更あれば訂正します。

2番目は、陥没があるかもしれないと私が言うたんで、女性の方が心配して。どこの道がどこを通ってるって質問があって、ちょっとこれはその場ではわからなかったんで、市の方と確認しますということだったんです。難しい問題もあるかと思いたすんで、これは検討、市の方ともうちょっと話を詰めて、もしわかればわかる範囲でホームページに載せたいと思います。

3番目、この説明会に、口では一生懸命文句は言うけども、いざとなったら説明会にも出てこない人がいっぱいいるということで、お叱りの御意見だったんです。せっかくこういうことを頑張って利用者の会がやっているのに、やはり住民一丸となってこういう活動をしなければならないので、ぜひともこういう説明会には出てきてほしいという意見だったと私は思いますので、そのとおりです。

利用者の会も今回かなり印刷をいっぱいしまして、7,500部ぐらい刷りまして、配ったんです。配った結果、これをやったらどのくらい集まるかなというのも見てますので、今後とも説明会は開く必要があると思います。じゃあ、もっと出ていただくためにはどうしたらいいのか、利用者の会の課題とも思いますので、少し検討していく必要があると思います。

輸送管の厚みがだんだん細くなることは、当然、事前に考えとかならないといけないという、その方の意見でした。ですので、それをどう考えてたのかということで、御指摘のとおりです。輸送管は目に見えない、現状確認が非常に難しい。その難しい中で、補修費が幾らかかるのかは市の職員の方の経験と私たちの知恵で試算した。お医者さんのように聴診器を当てて現状把握すればいいんですが、十分できない中で、10年ごとに今回その試算をしましたというお話をいたしました。

次のページです。ブロワを新しいものに更新したら電気代が少なくなるんじゃないか

という御意見が出ました。それに関してはいろいろ検討しましたが、3台もブロワを変えるのは大変なお金がかかります。また、インバーターをつけて電気量のコントローラもしたらどうかも検討しましたが、今、スペースの問題とか費用の問題でそれは難しいと。むしろ、補修で継続的にしていくほうが安いと現在では考えてますというお話をしました。

パイプラインで集めたごみはどこに行くのですかということで、これはセンターに集められて、夜、ベルトコンベアで焼却場に運ばれます。

恐らく、これは統合の話だと思います。7番目は統合の話で、西宮に運ぶのであれば運搬が二度手間になるんじゃないかということで、全体のメリットという金額の中で、二度手間になったらその分を差し引いて考える。だから、トータルでメリットがあるのではないかと。その費用は相殺されるのではないかとというお話をしました。

8番目が新しい視点です。芦屋市の職員じゃないかと心の中では思いましたけれども、パイプラインは早くやめたほうがいい。そうすると今のお金がかからない。ですから、合理的に考えれば、できるだけ早くパイプラインはやめたほうがいいという御意見の方でした。

合理的に考えればその面はあると思います、確かに。だけど、住民側として、それを、じゃあすぐ止めてええんかということは納得がされる方は非常に少ない。私たちが難しいのは合理的な側面を一方で考えつつ、一方で、やはり利用者の納得性も考えないといけない。両方のバランスをどうやってとるかということで、今回、20年という案を出したわけですから、そこを考えてほしいというお話をしました。

当然、住民の中からも意見が出まして、その方に対して、利用者のことも考えないといけないよというお話。ちょっと訂正というか、ここに341億円と、試算で私、91億円って書いてます。これは試算で85億円と訂正をこの場でさせてもらいます。期間がちよっと違っていて、私たちは30年を考えて試算したんですけど、市の341億円は45年だったと思います。ですから、その視点でこれは考えないといけないのでということで、この場で済みません、訂正させてもらいます。

それから、他都市でパイプラインを廃止された理由は何ですか。存続している理由は何でしょうかという御質問がありましたので、私としてはわかる範囲で、コストの問題だというお話をしました。ほかの都市のいろんな資料とかを読んでますと、やっぱりコストがかかると。

存続している理由は、千葉に行って話を聞いたのは、共同溝にしているから、現在、全く穴も開いてないので、そういう心配はしておりませんということで。コストの問題は新しく、今のところは発生しておりません。非常に楽観論でした。芦屋市は大変ですねみたいな感じで言われたので、20年たったらおたくもそうなりますよという話は嫌みでやったんです。

ただ、共同溝の問題もあるとおっしゃってました。それは何かというと、共同溝を破壊されたら全部がだめになる。ガスも、電気も、パイプラインも。道の横に共同溝の入り口がでっかくあるんです。ですから、今はそこは嚴重に、何重にも鍵をかけておられました。ですけども、やはり心配は、万が一そこに爆弾を仕掛けられたら、全てのライフラインがだめになるという新しい問題を抱えてますとおっしゃってました。

ただ、私たちに比べて、余り心配はしておられません。もうちょっと悪口を言いますと、どうせ俺の任期は1年やから、次の人、次の人ということで。そういうのが見えたんで嫌な感じがしました。

10番は私も確認したいんです。阪神の大震災が起きたときに、パイプラインの補修は国のお金とかそういうもので入ってしたんでしょうかという質問があったんで、壊れたことは私も知ってます。輸送管が外れたり、センター機器が壊れてセンターは建てかえをし、残りは補修した。どこのお金が出たかは私も知らないんで、ここで確認したいんです。どうなんですかね。

○市 そうですね。質問どおり、国のお金。災害復旧費。

○利用者の会 災害復旧費で、わかりました。

○市 全額じゃないんですけど。

○市 査定がきつかったようでした。

○利用者の会 11番目は当然の話で。最初から壊れることを前提に、インフラは30年程度で全部取りかえる計画を前もってしておくべきではなかったのかという御指摘を受けまして、そのとおりです。今後ともインフラを導入する場合、そういうのは必ずこういう視点を持って計画しなければいけません。この間、市長にお会いしたときも、副市長もそういうお話をそこでされたんで、今後はそういうことをされると信じております。

最後に、やっぱり心配しておられるのは西宮市との広域化で、広域化の問題とパイプラインの問題を非常に心配してる方がおられますので、これは広報か何かで伝える必

要があるかなと思います。私は別物と聞いている。運搬とごみの処理は別で、ここの芦屋市のセンターは収集したごみをパッカー車で運送できるように設計されてる。なお、西宮市との話し合いは、10月か11月に市長同士の話がある。以前はそういうふうになってたんですけども、今後とも延長して継続的に話をすると聞いておりますというお話を伝えております。

以上がICレコーダーから拾った質問です。今後とも、まだ終わっておりませんので、皆さん方にはいろんな質問、僕らでは考えなかった視点がいっぱいありますので、貴重な意見として協議会にも、利用者の会にも、そして市にもこれを上げていきたいと思っております。

以上です。

○利用者の会 春木です。どうも御苦労さまです。

1点だけ、11番。インフラは30年程度で全部取りかえる計画ということですが、民間企業に当てはめたら、もう工場を存続できないということだと思います。

以前スクラップアンドビルド、壊して次建てかえるやという極端なことやなしに、今企業でやってるような予防保全の考え方。劣化診断をして、また延命化をして、それでまた使いこなしていく。できる限り、設備が本当に寿命を全うするまで使いこなしていく活動を皆やってるんですね。

今回の反省としては、その辺の定期点検なり、劣化診断なり、また機器別の保全台帳をつくったり、高砂熱学がやってるのであれば、十分彼らも知ってるん違うかなという気もするんですが、ぜひその辺の、お医者さんやないけど、その辺の診断ができて、延命化もできるようなことをして、できる限り、末永く、コストも安く、環境も考えてやっていただきたいなと思っております。これは1点、ちょっと。

○市 ほかに何かございますでしょうか。

○傍聴者 潮見町の大田です。

先ほど読ませていただきまして、大半がパイプラインの維持管理に関することだと思います。山口さんにお尋ねしますが、代替案に関しての質問はどれほど出たのか、出なかったのか。内容はどうだったかをお話ししたいなと思うんです。

○利用者の会 今回まとめたのは11月18日と19日の午前中、1回、2回目のものをここに出しました。それ以降のものは出してません。1回、2回目では、残念ながらそういう話は出ませんでした。ただ、第3回目はまだまとめてませんが、出てます。それ

は次回の会議でまたまとめますので、御説明をさせていただきます。

○市 では、よろしいでしょうかね。次、8番、その他。何かございますでしょうか。

○利用者の会 市民の方からお褒めをいただいたことだけ、ちょっと御紹介をしておきたいと思うんです。利用者の会の長谷でございます。

環境処理センター全体のことで、外からなかなか見える場所ではなかったんですが、私も車いすになってから行ったことないですが、ちょうど南の護岸ベリが非常に汚かったそうなんです。それがきれいに植栽、竹林もきれいに見れるようにカットされた。ランナーの方ですか、走ってらっしゃる。すごい汚くて、外づらだけよかったらええんか、芦屋らしくないねと思ってた。それが自主的におやりになったということで、すごい喜んではりました。外も内もというふうになるようになればいいなということで、御紹介させていただきます。本当、ありがとうございます。

○利用者の会 春木です。

何度も済みません。1点だけ、ちょっとお聞きしたいな思ひまして。西宮市との広域化です。現在どんな状況になってるか、ちょっとお願ひしたいなと思うんですが。話せる範囲でいいと思うんですが。

特に思ってるのは廃プラですね。廃プラは1万kcal（キロカロリー）ぐらいの高発熱量で、民間でも、工場でも、我々はその廃プラを買ってるんです。これは地球温暖化の対策で、ISO14001もやってます。これを買ってでもやってるんです。一方、芦屋市は、こんなこと言うたら悪いですけど、焼却炉で燃やしてCO2の排出してるだけです。それは規模的なこともあって、いろんな制約条件もあって難しいと思うんですが、ぜひその辺も今後十分、広域化の中でも検討いただきたいなと私個人的には思ってます。よろしくお願ひします。

○市 芦屋市の藪田です。

西宮市の広域化の話ですが、先日も西宮市と広域化の検討会議を開催しまして、そこで話をしていたんです。まずどうするのか。広域化するのもしないのかという話です。11月ごろまでには、答えというか可能性について検討するということでスタートしたんですけども、いろいろ協議したり検討したりしてるんですけども、とりあえずは継続協議という形の話になっております。まだ、もう少し時間がかかるのかなという状況です。

廃プラ、プラスチックの資源化です。燃やすのか分けるのかという話でしょうけども。

現時点では、今、春木委員さんがおっしゃったように芦屋は燃やしてますし、西宮市さんは分別して資源化しています。最終決定はまだしてないですけども、どうしていくのかという中では、今のところ西宮市さんにそろえるというのは変ですけど、芦屋もその他プラを分別する方向かなという話には、今なっております。ただ、これからいろいろ話しして、検討して行って、決めていくことになると思うので、まだ決定されたものではないです。

以上です。

○市 それではよろしいでしょうか。

次、9番。今後の協議会のスケジュールで、次回に関しましては1月13日、土曜日を想定してるんですけども、皆様、御都合はよろしいでしょうか。

(日程調整)

○傍聴者 ちょっと、傍聴席から発言していいかどうか、私もいまだにわかりません。

私、最初に来たときに傍聴の方は慎んでください。そういうふうに注意されました。

去年の8月です。いつの間にか傍聴席の方が次から次へと発言するようになったというのは、これよろしいですか。

○利用者の会 了解すればOK。

○市 一応そのようにはしていますが、勝手には非常に困るんですけども。一応、委員で了解があれば。ただ、時間も関係がありますので、できるだけ簡潔にさせていただきたいなと思うんです。皆さんの思いもありますので、できるだけ酌んでいきたいなと思っております。済みません、よろしく御協力を。

○利用者の会 もし何か、御意見あるのであれば。

○傍聴者 私が最初にくぎを刺されたのはその点で、やっぱりオブザーバーだったらオブザーバーらしく、会議があったら参加して、もしも意見があったらその会の終わりにでも委員の方に、こういう点はぜひ検討してほしいとですね。やはり分をわきまえるべきだったんですよ。

例えば、ワーキング・グループとか、そういうミーティングを持たれてるはずですから、そういう場に今後参加されるとかですね。あくまでも今後の協議会に関しては、市の方々もちゃんと出ておられますし、公式の見解のぶつけ合いということをおブザーバーとして聞かせてもらうという立場でいいんじゃないか。

○利用者の会 今おっしゃられた、そのとおりやと私も思います。ただ、進めていく中で、

それぞれの方で、もっといい方向があるのにという案を持たれてる方、いろいろあるんで。だから、そのときにちょっと司会の方が。

○傍聴者 いや、そういうことであれば、それは当然、その会の終わってからでもいいんじゃないかと思うんです。そのテーマについてもう一回会議を持って、議論するということがいいんじゃないですか。もし、その都度認めるようになったら、もうがちゃがちゃになりますよ。

○利用者の会 それもよく理解してます。その上で司会の方が判断されてということで。それと、毎月、毎月、みんなが集まって、ほとんどとれないです。だったらそれを、みんなが気持ちを1つにしてやるためには、前向いて、将来に向けていい案で、皆さん言われてる方も、御理解していただいた上で発言していただいていると思うんです。

だから、この時間内で議題がこれだけあって、この進行も大事ですから。それも踏まえた上で今やっていただいていることもあります。その言われてることは非常によくわかります。ただ、そういうことで、今進んでるのは現状だと思います。

今後、またいろんな措置を含めて企画される中で、そういったこともまた含めてやられると思うんですけど。

○利用者の会 13日の日程をどうしましょう。

○市 基本的に役所のこういう会議等では、傍聴者は、おっしゃられるように発言できない形になってます。基本的にそういうスタンスでいくのもいいのかなと思ってます。

今、皆さん、この問題に関して真剣に取り組んでいらっしゃるって、意見を言いたいというのももちろん一定、理解できます。それを、おっしゃられるように委員の方におっしゃって、その委員の方に言ってもらおうという形でも結構ですし。

時間等の感じがありますので、司会は私と友田さんで交代でやっていますので、その時間を見ながら、基本的には傍聴者が発言するのは御遠慮いただいて、それでも時間があるとき手を挙げてもらって、司会者が判断をして、時間があるので、ちょっとだけ短目にどうぞという形で振るような形に、これからしていきたいと思っております。

○傍聴者 そのようにお願いします。原則はとにかく、原則はやっぱり8割、9割というのが原則なんです。それがその都度ね、それこそ付度とか、斟酌とか何だかんだありましたら、こういう協議会は成り立たないと思うんです。

○市 そうですね。基本的には御遠慮いただくような形で。その都度、司会者で判断して。手を挙げてるときも、ちょっと時間押していますのでという形で。これから切るか。ま

だ時間がある場合は、じゃあどうぞという形で振るような形でさせていただきたいと思います。

○傍聴者 ぜひお願いします。

○利用者の会 司会が判断される。

○市 私と友田さんで判断しますので。

それでは、13日。ちょっと御都合悪い方もいらっしゃいますけども、同じように10時からここで開催させていただきたいと思いますので、よろしくお願いします。

それでは、第15回ゴミパイプライン協議会、これで終わらせていただきたいと思います。どうもありがとうございました。

以上